

調べものの部屋には、中高生が調べものをするのに役立つ本など約1万冊があります。その中から2か月ごとにテーマを決めて選んだ本を、ウェルカム展示として入口で紹介しています。

※このリストは、展示時点で担当者が選んだものであり、テーマに関する網羅的な資料リストではありません。

私たち自身も含め、地球上にはたくさんの命がありますが、命とは何かと問われると、答えることは難しいのではないのでしょうか。命について考えてみるきっかけになるような本を集めました。

テーマ：**命**

### ▶リストの見方

No.	書名 (あれば巻号) 著者名(出版者, 出版年)【調べものの部屋請求記号】	【 】の中は、調べものの部屋のどこにあるかを示す請求記号 (日本十進分類法を使用) です。
-----	--	---

### ▶命とは

1	生命の起源はどこまでわかったか：深海と宇宙から迫る 高井研 編 (岩波書店, 2018) 【461.6】	地球生命の起源については様々な説が提唱されてきました。研究者達が、真実にたどり着こうと深海や宇宙を調査した過程と、最新の研究成果が紹介されています。
2	宇宙には、だれかいますか? : 科学者18人にお尋ねします。 佐藤勝彦 監修, 縣秀彦 編集 (河出書房新社, 2017) 【440.4】	どうすれば地球外“知的”生命体を発見できるのかという問いを含む8つの質問に、生物学・化学・物理学・生命科学・天文学等を専門とする科学者達が、最新の研究成果を踏まえて答えています。それぞれの考える地球外知的生命体の姿のイラスト付です。
3	ロボットはなぜ生き物に似てしまうのか：工学に立ちはだかる「究極の力学構造」 鈴木康一 著 (講談社, 2012) 【548】	命を持たない人工物であるロボットが、生き物に似た形をとることになるのはどういう理由なのか、解説されています。

### ▶命を救う

4	免疫が挑むがんと難病：現代免疫物語beyond 岸本忠三, 中嶋彰 著 (講談社, 2016) 【491.8】	生き物がもつ自己防衛機能「免疫」の、これまでの研究の経緯を紹介しています。2018年のノーベル医学・生理学賞を受賞した本庶佑氏による免疫チェックポイント分子の発見についても解説があります。
5	医療の歴史：穿孔開頭術から幹細胞治療までの1万2千年史 ステイーブ・パーカー 著, 千葉喜久枝 訳 (創元社, 2016) 【490.2】	古代、世界各地で行われていた伝統的な医療行為から、現代の遺伝子レベルの治療まで、世界中で行われてきた医療の歴史がわかります。
6	世界を救う7人の日本人：国際貢献の教科書 池上彰 編・著 (日経BP社, 2010) 【329.3】	途上国で、水・医療・食料等、生きていくうえで欠かせない分野のインフラづくりに従事している日本人7人を取り上げ、その活動を紹介します。

### ▶様々な命のあり方

7	生き物たちの情報戦略：生存をかけた静かなる戦い 針山孝彦 著 (化学同人, 2007) 【460】	動物生理・行動学の専門家である著者が、世界中を旅して様々な環境下の生物についての研究を行い、得られた成果と周辺情報を解説しています。
8	生物多様性と私たち：COP10から未来へ 香坂玲 著 (岩波書店, 2011) 【519】	生物多様性の重要性と、その維持のためにできることについて解説しています。副題のCOP10は、2010年に愛知県で開かれ、生物多様性について話し合われた国際会議を指します。

### ▶生と死について

9	特別授業"死"について話そう (14歳の世渡り術) 伊沢正名, 遠藤秀紀, 角幡唯介, 川口有美子, 最果夕ヒ, 酒井順子, 佐々涼子, 佐治晴夫, 島田裕巳, 園子温, 徳永進, 中森明夫, 畑正憲, 本郷和人, 元村有希子, 森川すいめい, 湯山玲子, 和合亮一 著 (河出書房新社, 2013) 【114】	国語・宗教・音楽・日本史・物理といった18の切り口から、教師役を務める18人が死にまつわる話をしています。様々な視点からの死についての考えに触れることができます。
10	鷗外全集 第16巻 森林太郎 著, 木下空太郎 [ほか]編 (岩波書店, 1988) 【913.6-モリ】	収録されている短編小説「高瀬舟」は、死にきれず苦しむ弟の自殺を助けたことで、罪に問われた男と江戸の同心の会話が中心となっています。